



2023年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月6日

上場会社名 サンネクスタグループ株式会社
 コード番号 8945 URL <https://www.sunnexta.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理財務グループ長
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

上場取引所 東

(氏名) 高木 章
 (氏名) 吉田 勇
 配当支払開始予定日

TEL 03-5229-8839
 2023年3月3日

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第2四半期の連結業績(2022年7月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第2四半期	3,986	△5.5	340	△1.5	342	△4.1	228	△84.6
2022年6月期第2四半期	4,219	2.4	346	△10.9	356	△12.9	1,484	614.5

(注) 包括利益 2023年6月期第2四半期 314百万円 (△81.8%) 2022年6月期第2四半期 1,728百万円 (62.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第2四半期	25.11	24.29
2022年6月期第2四半期	147.75	143.20

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第2四半期	10,111		7,681			74.5
2022年6月期	10,625		7,483			69.2

(参考) 自己資本 2023年6月期第2四半期 7,537百万円 2022年6月期 7,355百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	17.00	—	18.00	35.00
2023年6月期	—	18.00	—	—	—
2023年6月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年6月期の連結業績予想(2022年7月1日～2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	3.5	780	△11.6	820	△12.1	540	△72.7	59.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年6月期2Q	10,749,700 株	2022年6月期	10,692,700 株
② 期末自己株式数	2023年6月期2Q	1,632,636 株	2022年6月期	1,632,636 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年6月期2Q	9,089,314 株	2022年6月期2Q	10,047,050 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症における行動制限の緩和等により、社会経済活動に回復の動きが見られましたが、変異株による感染再拡大やウクライナ情勢の長期化に伴う各種資源価格の高騰、さらには円安等の為替変動の懸念などにより、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境においては、少子高齢化の進行や働き方の多様化の拡大による人手不足の深刻化により、企業によるアウトソーシングの需要は引き続き高い状況にあります。また、マンション管理市場においては、竣工戸数は微減傾向で推移しているものの、新築分譲マンションは毎年供給され続けており、マンションストック数の増加を背景に、堅調な伸びが続いております。

近年、新型コロナウイルス感染症の影響から新規顧客開拓の停滞や修繕工事の延期・先送りが発生しておりますが、企業や管理組合からの引き合い数の増加や修繕工事案件の増加など徐々に感染拡大前の水準に戻りつつあります。

このような状況のもと、当社グループは3年目となる中期経営計画「NEXT STANDARD 2025」を推進し、アウトソーシングの価値を最大化していくことへの挑戦を続けております。

2023年6月期においては、コロナ禍で停滞した新規受託の回復に注力するとともに、事業拡大と生産性向上への積極投資を継続しながら、アウトソーシング領域の拡大とオペレーションの変革をさらに推し進めております。

当第2四半期における連結業績は、以下のとおりであります。

売上高は39億86百万円（前年同期比5.5%減）、営業利益は3億40百万円（同1.5%減）、経常利益は3億42百万円（同4.1%減）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に投資有価証券売却益を特別利益に計上したことから、2億28百万円（同84.6%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 社宅マネジメント事業

社宅マネジメント事業においては、企業における住宅制度・運用の見直しや周辺業務のさらなる外部委託化から、社宅関連業務のアウトソーシングへの関心は高い状態を維持しております。

新規受託に向けては、中堅企業に対し専用サービスの提供を開始するなど着実に営業活動を強化しておりますが、前期に発生した一部の顧客における解約や特定業務の内製化の影響が残り、また、デジタル化への投資も増加したことから、売上高は19億5百万円（前年同期比7.3%減）、営業利益は5億91百万円（同19.4%減）となりました。

② マンションマネジメント事業

マンションマネジメント事業においては、管理戸数が順調に推移しております。また、小修繕工事や共同購買商品の増加に加え、不動産活用サービスにおける買取再販取引の増加がありましたが、リフォームサービスを担う株式会社全日総管理が連結対象子会社から外れたことにより、売上高は18億68百万円（前年同期比5.2%減）となりました。利益面では、欠員が生じたことによる人件費の減少やのれんの償却額が減少した結果、営業利益は1億16百万円（同178.1%増）となりました。

③ インキュベーション事業

インキュベーション事業においては、24時間対応のコールセンターサービスのほか、複数のサービスが堅調に推移したことから、売上高は2億11百万円（前年同期比10.1%増）、営業利益は16百万円（前年同期は1百万円の営業損失）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5億13百万円減少し、101億11百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ6億35百万円減少し、70億円となりました。これは主に現金及び預金の減少6億38百万円、営業立替金の減少1億39百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1億22百万円増加し、31億10百万円となりました。これは主に投資有価証券の増加78百万円によるものであります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ7億11百万円減少し、24億30百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ7億54百万円減少し、17億12百万円となりました。これは主に未払法人税等の減少5億62百万円、営業預り金の減少1億15百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ42百万円増加し、7億17百万円となりました。これは主に繰延税金負債の増加46百万円によるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1億97百万円増加し、76億81百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加65百万円、保有株式の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の増加85百万円によるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より6億38百万円減少し、49億71百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により減少した資金は4億45百万円（前年同期は1億90百万円の資金の増加）となりました。これは主に法人税等の支払額7億51百万円及び税金等調整前四半期純利益3億45百万円などによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により減少した資金は38百万円（前年同期は15億96百万円の資金の増加）となりました。これは主に固定資産取得による減少83百万円及び投資有価証券の償還による資金の増加50百万円によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により減少した資金は1億54百万円（前年同期は1億28百万円の資金の減少）となりました。これは主に配当金の支払による支出1億62百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期の通期連結業績予想につきましては、2022年8月10日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,634,168	4,995,412
売掛金及び契約資産	349,051	310,142
営業立替金	1,132,312	992,328
商品	1,704	4,255
販売用不動産	171,507	199,649
仕掛品	8,247	12,015
貯蔵品	10,406	11,694
その他	332,330	477,886
貸倒引当金	△3,339	△2,752
流動資産合計	7,636,390	7,000,633
固定資産		
有形固定資産	227,031	245,089
無形固定資産	348,945	374,479
投資その他の資産		
投資有価証券	2,145,344	2,223,853
その他	267,439	267,533
貸倒引当金	—	△23
投資その他の資産合計	2,412,783	2,491,362
固定資産合計	2,988,761	3,110,932
資産合計	10,625,151	10,111,565
負債の部		
流動負債		
買掛金	164,560	148,499
未払法人税等	692,654	129,770
営業預り金	641,150	525,925
賞与引当金	52,997	45,490
役員賞与引当金	9,520	5,633
株主優待引当金	8,055	—
その他	897,657	857,258
流動負債合計	2,466,595	1,712,577
固定負債		
退職給付に係る負債	193,965	190,997
繰延税金負債	479,236	525,962
その他	2,170	870
固定負債合計	675,371	717,829
負債合計	3,141,966	2,430,407
純資産の部		
株主資本		
資本金	972,383	988,033
資本剰余金	727,333	742,983
利益剰余金	5,580,378	5,645,571
自己株式	△1,187,197	△1,187,197
株主資本合計	6,092,898	6,189,391
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,262,307	1,348,058
その他の包括利益累計額合計	1,262,307	1,348,058
新株予約権	127,978	143,708
純資産合計	7,483,184	7,681,158
負債純資産合計	10,625,151	10,111,565

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
売上高	4,219,000	3,986,356
売上原価	3,158,787	3,025,123
売上総利益	1,060,213	961,232
販売費及び一般管理費	713,910	620,263
営業利益	346,302	340,969
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,257	1,263
受取手数料	736	331
還付加算金	1,774	—
補助金収入	5,963	864
受取保険金	747	822
その他	1,211	287
営業外収益合計	11,691	3,569
営業外費用		
支払補償費	137	1,332
その他	906	782
営業外費用合計	1,044	2,115
経常利益	356,948	342,423
特別利益		
投資有価証券売却益	1,826,228	—
新株予約権戻入益	4,227	3,275
特別利益合計	1,830,456	3,275
特別損失		
固定資産除却損	308	27
減損損失	7,758	—
特別損失合計	8,067	27
税金等調整前四半期純利益	2,179,337	345,672
法人税等	694,801	117,397
四半期純利益	1,484,536	228,274
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,484,536	228,274

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,484,536	228,274
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	244,309	85,750
その他の包括利益合計	244,309	85,750
四半期包括利益	1,728,845	314,025
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,728,845	314,025
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,179,337	345,672
減価償却費	26,397	21,468
減損損失	7,758	—
のれん償却額	17,000	—
新株予約権戻入益	△4,227	△3,275
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,203	△587
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△15,284	△7,507
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,610	△3,886
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△1,745	△2,968
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	△5,974	△8,055
株式報酬費用	34,346	33,958
受取利息及び受取配当金	△1,257	△1,263
支払利息	403	34
固定資産除却損	308	27
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,826,228	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△381	38,909
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,858	△16,061
営業立替金の増減額 (△は増加)	406,575	139,984
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△81,685	△35,748
前受金の増減額 (△は減少)	△2,846	60
契約負債の増減額 (△は減少)	—	31,572
営業預り金の増減額 (△は減少)	△266,571	△115,225
その他	12,479	△112,236
小計	479,855	304,871
利息及び配当金の受取額	1,257	1,263
利息の支払額	△403	△34
法人税等の支払額	△428,768	△751,535
法人税等の還付額	138,084	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	190,026	△445,434
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△58,077	△26,718
無形固定資産の取得による支出	△116,888	△57,246
投資有価証券の取得による支出	△98,000	△4,913
投資有価証券の売却による収入	1,868,803	—
投資有価証券の償還による収入	—	50,000
貸付金の回収による収入	255	255
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,596,093	△38,622
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△1,276	△1,288
株式の発行による収入	42,794	9,308
自己株式の取得による支出	△74	—
配当金の支払額	△169,681	△162,719
財務活動によるキャッシュ・フロー	△128,237	△154,698
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,657,883	△638,756
現金及び現金同等物の期首残高	4,067,400	5,609,886
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,725,283	4,971,130

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2021年7月1日 至 2021年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 2
	社宅マネ ジメント 事業	マンショ ンマネジ メント事 業	インキュ ベーショ ン事業	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	2,056,209	1,970,620	192,170	4,219,000	—	4,219,000
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	666	3,848	35,955	40,470	△40,470	—
計	2,056,876	1,974,468	228,125	4,259,470	△40,470	4,219,000
セグメント利益又は損失(△)	733,965	41,975	△1,548	774,391	△428,089	346,302

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△428,089千円は、セグメント間取引消去5,981千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△434,071千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「インキュベーション事業」セグメントにおいて、無形固定資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において7,758千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2022年7月1日 至 2022年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 2
	社宅マネ ジメント 事業	マンショ ンマネジ メント事 業	インキュ ベーショ ン事業	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	1,905,828	1,868,908	211,620	3,986,356	—	3,986,356
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	215	3,066	38,831	42,113	△42,113	—
計	1,906,043	1,871,974	250,451	4,028,469	△42,113	3,986,356
セグメント利益	591,308	116,745	16,376	724,429	△383,460	340,969

(注) 1. セグメント利益の調整額△383,460千円は、セグメント間取引消去9,167千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△392,627千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。